

のみとり侍 (2018)

メディア 映画

ジャンル 時代劇 コメディ エロティック

製作国 日本

色彩 Color

時間 110分

初公開日 2018/05/18

公開情報 東宝

映倫 R15+

【解説】

小松重男の同名短編を「後妻業の女」の鶴橋康夫監督が、主演に阿部寛を迎えて映画化した艶笑人情時代劇。藩主の逆鱗にふれ、“蚤とり”という奇妙な仕事を命じられた生真面目なエリート侍がたどる数奇な運命をユーモラスに綴る。共演は寺島しのぶ、豊川悦司、斎藤工、風間杜夫、大竹しのぶ、前田敦子、松重豊。

十代将軍・徳川家治の治世。老中・田沼意次の規制緩和によって賄賂も横行する一方、景気は上向き、人々は太平を謳歌していた。そんな中、長岡藩の真面目すぎるエリート藩士・小林寛之進は、ふとしたことから藩主の怒りを買って、江戸の貧乏長屋に左遷され、“蚤とり”というよく分からない商売をすることになる。しかし猫の蚤とりは表向きで、実態は女性に愛を届ける“添寝業”だった。そんな寛之進の前に初めての客として現われた女・おみねは、なんと亡き妻・千鶴に瓜二つ。胸が高鳴る寛之進だったが、おみねからは“下手くそ！”と身もふたもない罵声を浴びてしまう。失意の寛之進は恐妻家の伊達男・清兵衛に教えを乞うのだったが…。

【クレジット】

監督	鶴橋康夫
製作	市川南
プロデューサー	秦祐子 臼井央
ラインプロデューサー	梶原富治 柴田和明
共同製作	竹田青滋 山田裕之 井口佳和 岡田美穂 谷和男 吉崎圭一 大村英治 林誠 杉田成道 宮崎伸夫 広田勝己 安部順一 加太孝明

	丹下伸彦 板東浩二 荒波修	
原作	小松重男	『蚤とり侍』 (光文社文庫刊)
脚本	鶴橋康夫	
撮影	江崎朋生	
美術	近藤成之	
衣装	松田和夫	
衣装デザイン	小川久美子	
編集	山田宏司	
音楽	羽岡佳	
音楽プロデューサー	杉田寿宏	
照明	高屋齋	
録音	白取貢	
装飾	極並浩史	
VFX	大澤宏二郎	
メイク	山下みどり	
スクリプター	永倉美香	
助監督	木ノ本浩平	
プロダクション統括	山内章弘	
出演	佐藤毅	
	阿部寛	小林寛之進
	寺島しのぶ	おみね／千鶴
	豊川悦司	Etsushi Toyokawa 清兵衛
	斎藤工	佐伯友之介
	前田敦子	おちえ
	風間杜夫	甚兵衛
	大竹しのぶ	お鈴
	伊武雅刀	
	六平直政	
	山中聡	
	三浦貴大	
	大西武志	
	堀内正美	
	河屋秀俊	
	池田政典	
	白井哲也	
	いわすとおる	
	城土井大智	
	岩村春花	
	淵上真如	
	久野麻子	
	福本莉子	
	松重豊	牧野備前守忠精

笑福亭鶴光

ジミー大西 Jimmy Onishi

オール阪神 All Hanshin

飛鳥凜

雛形あきこ

樋井明日香

山村紅葉

桂文枝

田沼意次